

③ 指導計画 11時間

題材(課題)	時間	ね ら い	形態 (集団)	担 当 (複数○)
1. 水溶液に違う水溶液や、金属を入れたらどうなるだろうか。	1	1. いろいろな水溶液をまぜ合わせたり、水溶液に金属を入れたりしたときの变化から、水溶液の性質について考えさせる。	大	○
2. 酸性の液、アルカリ性の液にそれぞれ食塩水をまぜたらどうなるだろうか。	2	2. 酸性、またはアルカリ性の液に、それぞれ中性の液を加えても液の性質はかわらない。ただまじっているだけであることを知らせる。	中	
		3. まぜる液の量や、濃さによって、性質が決まることに気づかせる。	中	○
2. 酸性の水溶液にアルカリ性の水溶液をまぜ合わせると、どうなるだろうか。	3	4. 酸性の液にアルカリ性の液を加えていくときの性質は、連続的・可逆的变化であることに気づかせる。	中	
		5. 中性になり中和することを知り、中和した時に別なものができるとを知らせる。	中	○ (本時)
		6. 中和は、液が中性にならない時でもおこっていることに気づかせる。	中	
3. 酸性やアルカリ性の水溶液に金属を入るとどうなるだろうか。	1	7. 金属の違いによって、変化のしかたが違うことに気づかせる。	中	○
	1	8. 水溶液の種類によっても変化のしかたが違うことに気づかせる。 9. とけた液からはじめの金属と違うものがえられることを知らせる。	中	
4. 水溶液の濃さによって、どんな違いがあるだろうか。	1	10. 普通濃いものが、はやくとかすことを確かめる。	中	
5. 温度による変化の違いは、どうだろうか。	1	11. 温度が高いとはやくとけ、とけないものでも熱すると、とけるようになるものがあることを知らせる。	中	○
6. まとめ	1	12. 理解度や技能を評価し、補充・転移をはかる。	中	